

## 第2回 (仮称) 定山溪地区義務教育学校新築検討協議会議事概要

### 1 日時

令和3年(2021年)12月22日(水)14:30~15:15

### 2 場所

定山溪中学校 体育館

### 3 出席者

別紙のとおり

### 4 協議会次第

協議会に先立ち、検討委員へ配布済みの前回協議会議事概要について間違い等がなかったか確認した。前回協議会でご意見があった「中学校からバス停までの街路灯設置」について、南土木センターに要望を伝え、学校周辺の道路において、今年度内に街路灯を増設できるよう検討するとの回答があった旨を報告した。

#### (1) 新校舎の平面計画案 (施設整備係 田中)

【資料「(仮称) 定山溪地区義務教育学校新築ほか工事基本設計 平面計画案】

- ・ 第1回改築検討協議会の協議結果から、平屋建て案を元に内部の配置の検討を行った。
- ・ 平面計画とデザインのコンセプトは、9年間を通した学びのなかで、日常的に異学年の活動が感じられ、交流がしやすい空間を造ること、学校運営がしやすく、家庭や地域が教育活動に参画しやすい施設とすること、木の温もりが感じられる空間を演出すること。

(昇降口周辺)

- ・ 昇降口は建物中央に配置し、各教室へアクセスしやすいようにし、昇降口の両隣には、職員室と児童会館を配置した。
- ・ 職員室から、児童生徒の様子や来校者への対応がしやすいこと、児童会館から、屋内運動場や図書室など、学校の施設が使いやすいことに配慮した。

(校舎西側)

- ・ 給食室や塵芥庫などは、道路に面して配置し、サービス車両の動線を集約することで、児童生徒の通学動線と分離した。
- ・ 普通教室は、図書室や多目的室を介して向かい合うことで、日常的に異学年の活動が感じられる空間とした。
- ・ ICT多目的室・図書室は、活動が見渡せる間仕切り壁を設け、昇降口付近の多目的室は、間仕切りを開放してホールとしても利用できるようにする。
- ・ 建物外周に庇を設けることで、外壁を保護するとともに、南側諸室への夏季の

日射を遮蔽する。

- ・ 教室は、ワークスペースの上部高窓からも光を取り入れる2面採光とする。
- ・ 平屋の特徴を活かすことで、南北の教室ともに、安定した採光、通風を確保することができる。

(校舎東側)

- ・ 管理諸室とPTA・コミュニティースクール室などを配置した。
- ・ 保健室・教育相談室は、相談しやすい落ち着いた場所として、児童生徒の動線が少ないエリアに配置した。
- ・ 主な特別教室は、一体的に配置し、音楽室は、普通教室への音漏れに配慮し、建物東端に配置した。
- ・ グラウンド用の昇降口を設けた。

(郷土博物館)

- ・ 郷土博物館は別棟、床面積は75㎡で計画した。
- ・ 平面形状は、円に近い16角形とすることで、回遊しながら展示棚等を閲覧するような形を検討しているところ。

## (2) 質疑・意見

質 疑・意 見	回 答
出入口は、不審者対応や火災時に避難しやすいよう、四方向に速やかに外に出れる経路が確保できるといい。給食室のところの出入口が使えるといい。	避難経路は消防とも協議しながら、実施設計の中でしっかりと考えていく。平屋建てなので、各教室から避難することも想定できる。
小中一緒になるが、男子女子トイレの個数はどれくらい作れるのか。 トイレ事情はデリケートな部分になるので、多めに作った方がいい。	女子便器10個、男子大便器4個、男子小便器8個で計画している。 札幌市の便器設置基準は、女子20人に1個、男子大便器は50人に1個、男子小便器は25人に1個としている。 新校舎では、1～7年生35人、8～9年生40人学級となった場合の必要数を満たすよう計画しており、現状は50人程度の児童生徒数のため、十分足りている個数となっている。
定山溪の雪の量は半端じゃないため、校舎の屋根の上に溜まる雪を考慮しないと後々大変なことになるので、しっかりと考えてほしい。	屋根は無落雪としており、一部高窓となっている部分も、積雪量を考慮した位置に窓を設置する予定。 雪の心配は学校からも聞いているため、今後も検討していく。

<p>屋内運動場と校舎の間に雪が溜まっていく。屋根も雪を落とさないといけないし、下に落とした雪のことも考えた方がいい。せっかく採光を考えても、周りの窓も全部埋まって真っ暗になってしまうので、雪のことは本当に考えた方がいい。</p> <p>屋内運動場の渡り廊下は、屋内運動場からの落雪を考え、落雪で渡り廊下自体が壊れないよう、防雪柵の位置を考えた方がいい。</p>	<p>外構部分もできる限りの整備をする予定のため、屋内運動場の回りの雪対策については、ご意見を踏まえて検討したい。</p> <p>渡り廊下は鉄筋コンクリートで強度のあるもので作る予定。防雪柵も設け、万全の雪対策をとっていきたい。</p>
<p>屋内運動場の一部に雨漏りがあるみたいなので、雨漏りの補修もしてほしい。</p>	<p>屋内運動場は改修を予定しているため、雨漏りについても出来る限りの改修をする。</p>
<p>無落雪の屋根になるということだが、雪は積もりっぱなしになるのか。とんでもない雪の量になる。風向きによっては、高窓も吹き溜まりになって、雪が貼りつくと思う。</p>	<p>雪は積もりっぱなしになる。ご意見参考にさせていただく。</p>
<p>小中一緒になると、保護者の駐車スペースはどうなるか。小学校で例年やっているイベントでは、湯の花温泉にお願いし、駐車させてもらっている。参加者は、高齢者の方も多いので、駐車スペースが気になる。</p>	<p>駐車スペースは通常、学校運営に必要な台数を整備している。イベント等での利用については、空いている敷地スペースの利用が考えられるが、学校との話し合いの中で決めていただきたい。</p>
<p>エントランスひろばは、車の乗り入れはできるか。</p>	<p>歩車分離の考えから、歩行専用と考えている。</p>
<p>昇降口から門までの距離が遠くないか。子どもを正門で車から降ろして、入り口まで遠いように感じる。小学校低学年は遠いのではないか。</p> <p>近くまで車で入れるようにできないか。</p>	<p>30m程度の距離となるが、車が入れる仕様とし、緊急車両などは入れるようにする。普段は歩行者の専用とする想定だが、学校とも相談し、検討していく。</p> <p>(小学校)</p> <p>指導の面も含め、使い方を検討していきたい。</p>
<p>高窓からの採光が、年間を通して、日の当たる場所が限られると思うが、木が日焼</p>	<p>(設計事務所)</p> <p>日射により日焼けはするが、目立つ</p>

けしたときに、耐久性はどうか。	て、明らかに違うものにはならない。色味は多少変わるが、それにより木材が劣化することや耐久性が落ちることはない。
冬は寒いですが、暖房はどうか。	暖房方式は今後検討していくことになる。
昇降口から入ってすぐ隣に校長室があるのはどうか。職員室と位置を入れ替えて、奥にした方がいいのでは。学校の意見を聞きたい。	(中学校) 中学校では校長対応することが結構多いので、昇降口が近い位置の方が都合がいい。教室が近い方が使いにくい。 新しい校舎になったときに、校長室がセンター的な、いつも人が集まる場所になったら教育的な効果があると思う。 (小学校) 構造上の問題もあって、難しいという話も聞いているので、この場所でもいいと思っている。
塵芥庫が左上にあるが、収集車が取りにくるところまで、用務員さんが事前にごみを出さなければならない。塵芥庫の位置を東面に寄せて、外からごみを直接とれるようになるといい。	今後、実施設計の中で検討していく。

### 【結論】

本日の案をベースに、引き続き学校と詳細を検討していく。

#### (3) 今後のスケジュール（施設整備係長：伊藤）

2月14日（月）に保護者及び地域の方向けの住民説明会を開催する予定である。説明会終了後には、参加できなかった方のため、札幌市公式ホームページに議事録を掲載するほか、学校、定山溪まちづくりセンター及び定山溪小ミニ児童会館にて約1ヶ月程度議事録を閲覧できるようにし、意見を募集する。

#### (4) 新築検討委員会委員長あいさつ（定山溪中学校 小林校長）

2回目の協議会が終了し、かなり細かいところまで検討し、具体的なイメージが湧いてきたかと思えます。

今日12月22日は冬至ですが、冬至といえば、かぼちゃと小豆を煮た「いとこ煮」があります。いとこ煮は、固い物から順々においおい（甥々）煮ていくということで、いとこ煮と言うそうです。

義務教育学校の準備を進めていますが、校舎、いわゆる固いものから順々に煮詰め、今度は柔らかいもの、教育目標や教育課程を煮込んでいかないといけないと強く感じているところです。

また、皆様のご意見、ご協力を得ながら、すでに校舎のイメージができていますので、それに向けてどんどん良い学校を作っていきたいと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

**(仮称)定山溪地区義務教育学校  
新築検討協議会 名簿**

	所属	役職・係等	氏名	出欠 (1回目)	出欠 (2回目)
検討委員会メンバー 12名	地域・評議員関係	定山溪連合町内会 会長	陰元 潤一	○	×
		体育・青少年育成部長	江刺家 博	○	○
		学校評議員(小中兼務)	井口 榮子	○	○
		定山溪まちづくりセンター所長	月宮 広二	○	○
	PTA関係	定山溪小PTA会長	奥田 康博	×	○
		定山溪中PTA会長	山内 幸江	○	○
	児童会館関係	定山溪小ミニ児童会館 館長	酒井 久美	○	○
		学校関係	定山溪小 校長	金野 智	○
	定山溪小 教頭		山本 尚枝	○	○
	定山溪中 校長		小林 大介	○	○
	定山溪中 教頭		宮武 祐子	○	○
			定山溪中 主幹教諭	佐藤 英希	○
札幌市関係 13名	教育委員会生涯学習部 学校施設課	学校施設課長	前田 憲一	○	○
		計画係	高橋 花	○	○
		施設整備係長	伊藤 哲夫	○	○
	教育委員会学校教育部 教育推進課 教育課程担当課	施設整備係	田中 孝恒	○	○
		学びのプロジェクト担当係長	柴垣 孝治	○	×
		義務教育担当係長	武田 暁仁	○	○
	都市局建築部 建築工事課	工事三係長	山崎 大史	○	○
		工事三係	石黒 健太	○	○
	子ども未来局子ども育成部 子ども企画課	施設保全担当係長	片桐 有也	○	○
		放課後児童係長	奈良 晴洋	○	○
		放課後児童係	菊地 美絵	○	○
	設計事務所	株式会社アトリエブク	池村 菜々	○	○
			福山 将斗	○	○